

2012年3月17日土曜日

13:00 ~ 17:10

お茶の水女子大学

共通講義棟2階 201大講義室

参加費 無料（どなたでも参加できます）

参加申込先 下記まで（先着順受付）

定員になり次第、締め切り

国際基督教大学

学生のアカデミック・プランニングとアドバイジングによる学修支援

教養学部・APセンター
森島泰則上級准教授

奈良女子大学

奈良女子大学における学習支援の課題と展望

文学部・学習支援室
佐原康大教授

同志社大学

学修支援システムDUETとGPA得点分布公表

文学部
圓月勝博教授

お茶の水女子大学

多角的な学士力養成を担う総合的学修支援事業の成果と今後

教育開発センター
半田智久教授

大学教育・学生支援推進事業: 大学教育推進プログラム 採択事業

多角的な学士力養成を担う総合的学修支援 公開シンポジウム 2

大学で確かに学び修めていくために!

— その学修支援に向けて





文部科学省 平成21～23年度大学教育推進プログラム採択事業

多角的な学修支援を担う総合的学修支援 公開シンポジウム 2

大学で確かに学び修めていくために！

— その学修支援に向けて

日時 2012年3月17日土曜日 13:00～17:10

会場 お茶の水女子大学 共通講義棟 2階201 大講義室

プログラム

12:30 開場

13:00～13:10 開会挨拶 耳塚寛明（お茶の水女子大学 理事・教育機構長）

13:10～13:40 ① 学生のアカデミック・プランニングとアドバイジングによる学修支援

国際基督教大学 森島泰則上級准教授

国際基督教大学では、学生は全員教養学部に入學し、2年間の学修の後メジャー（専攻）を選択する。メジャー選択を中心に学生が自らの学修を主体的に進める学生の育成を目指している。本学ではアドバイジングを通じて学生のアカデミック・プランニングの支援に取り組んでいる。今回の発表では、本学の取り組みの現状と課題を報告する。

13:45～14:15 ② 奈良女子大学における学習支援の課題と展望

奈良女子大学 佐原康夫教授

奈良女子大学では、全学組織として「学習支援室」を新設し、教育と学生支援全般を有機的に連携させながら、正課の内外を通じた学習支援を目指している。平成23年度には、全学の学生・教職員を対象に学習支援に関する調査を実施し、多くの示唆を得た。今回はそこから導かれる課題と展望について報告したい。

14:20～14:50 ③ 学修支援システムDUETとGPA得点分布公表

同志社大学 圓月勝博教授

同志社大学においては、学生の自主的な学びを促進するために、2004年度から学修支援システムDUETを全学的に導入し、それと並行して、すべての開講クラスのGPA得点分布を学内外に公表している。近年の大学改革の動向を踏まえて、学習時間の増大と教育情報の公表促進の観点から、その成果と今後の展望について報告する

14:55～15:25 ④ 多角的な学修支援を担う総合的学修支援事業の成果と今後

お茶の水女子大学 半田智久教授

お茶の水女子大学では平成21年度から大学教育推進プログラムに採択され同事業を展開、今年度、それを完了する。本報告ではその事業の3本柱として実施したカラーコードベンチマークシステム、fGPAシステム、総合学修支援センター／システムの開発と導入、その成果をあきらかにし、今後の展望をおこなう。

15:30～16:00 ⑤ 特別講演「学修の実質化に向けた政策の動向について」

文部科学省 高等教育企画課 義本博司課長

16:10～17:00 ⑥ 総合ダイアログ

17:00～17:10 閉会挨拶 耳塚寛明（お茶の水女子大学 理事・教育機構長）

参加費 無料（どなたでも参加できます）

参加申込先 お茶の水女子大学 教育開発センター 半田研究室あて 電子メール handa.motohisa@ocha.ac.jp

または同封の参加申込はがきにて、**先着順受付**で参加券を郵送します。定員になり次第、締め切ります。

<http://www.cf.ocha.ac.jp/crde/>